

## (お知らせ)

## 「大飯発電所4号機加圧器逃がしタンク」に係る警報の発生について

平成24年7月16日

関西電力株式会社

平成24年7月15日18時18分に、大飯発電所4号機の中央制御室で、加圧器逃がしタンクの圧力が高くなったことを示す「加圧器逃がしタンク圧力高」の警報が発信しました。特別監視体制チームとして確認され、原子力安全・保安院から配信されたメールは添付の通りです。(添付資料-1参照)

同年7月16日2時48分から、加圧器逃がしタンクに充填している窒素の圧力を下げる作業を行い、2時54分にその作業が完了したため、「加圧器逃がしタンク圧力高」の警報はリセットされました。

外部への放射性物質による影響はありません。

また、4号機の起動プロセスへの影響はなく、計画通りに起動作業を進めても、安全上の問題はありません。

警報発信の原因は、加圧器逃がしタンク窒素供給圧力調整弁の制御器の一時的な不調により、タンクに窒素が流入して圧力が警報の設定値を上回った可能性が高いと推定しています。

なお、当該調整弁については動作健全性の確認を行い、現時点において動作状況に問題がないことを確認しています。

以上

## 添付資料-1

(原子力安全・保安院から配信されたメール)

平成24年7月15日 20時20分発信

関係者各位

標記の件について、関西電力大飯発電所4号機（起動準備中）に係る情報がありましたのでお知らせします。

本日18時18分、大飯発電所4号機の中央制御室で、加圧器逃がしタンク※の圧力が高くなったことを示す警報が発生しました。

※運転中、一次系の圧力が高くなった場合に、一次系から逃がした蒸気等を受けるタンク。

警報発生時、加圧器逃がしタンクへ窒素を供給するラインの切り替え作業を実施しており、窒素供給ラインを切り替えた際に、配管内に残っていた圧力の高い窒素が流入したためと推定されます。

加圧器逃がしタンクの圧力上昇は僅か（設計値約700キロパスカルに対し、今回の上昇は39.3キロパスカル）であり、タンクの健全性に問題はありません。

今後、明朝を目途に、加圧器逃がしタンクの窒素を抜き、圧力を降下させる作業を行う予定です。

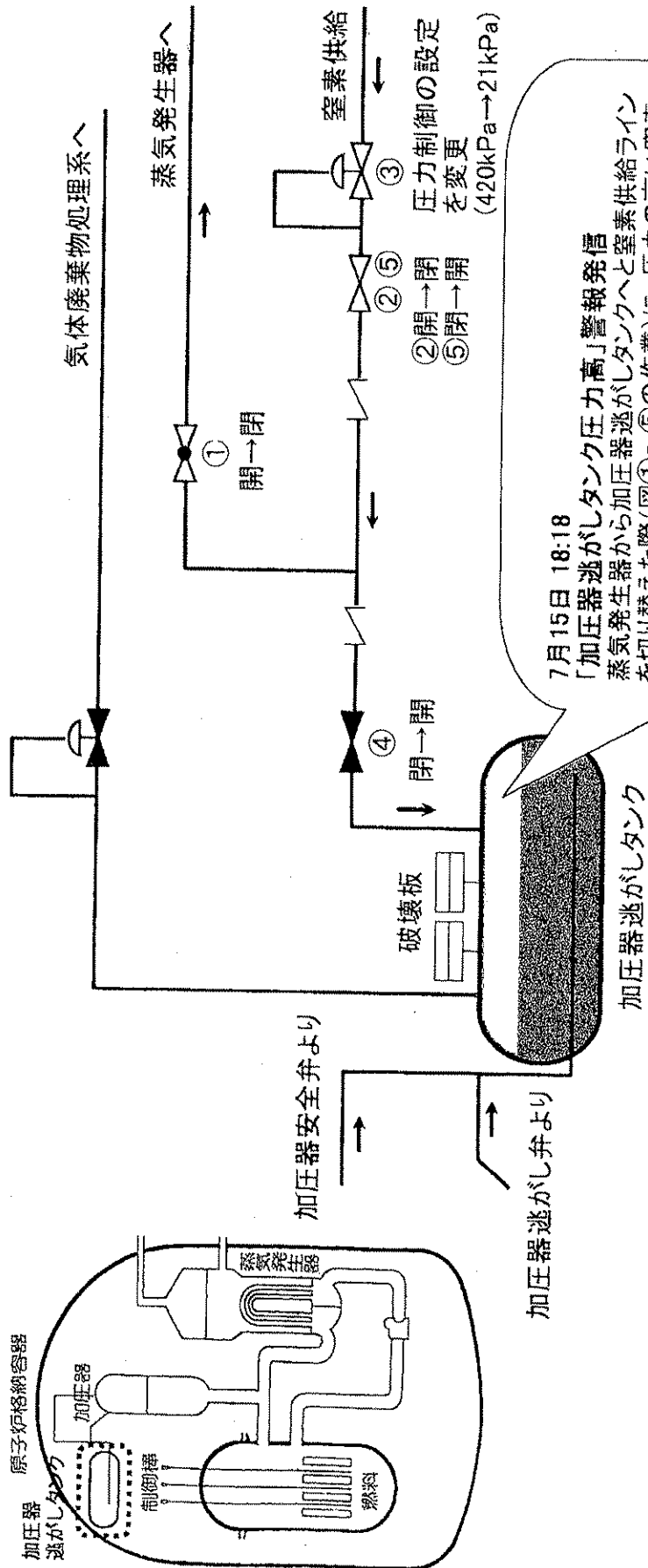
外部への放射性物質による影響はありません。

また、4号機の起動プロセスへの影響はなく、計画通りに起動作業を進めても、安全上の問題はありません。

現地保安検査官が現場確認を行っています。

以上

# 大飯発電所4号機「加圧器逃がしタンク圧力高」警報の発信について



添付資料 2

7月15日 18:18  
「加圧器逃がしタンク圧力高」警報発信  
蒸気発生器から加圧器逃がしタンクへと窒素供給ライン  
を切り替えた際(図①～⑤の作業)に、圧力の高い窒素  
が加圧器逃がしタンクに流入し、「圧力高」の警報が発  
信したと推定される。

7月16日 2:54 警報消灯  
本日(16日)、2:48から気体廃棄物処理システムを使い、加  
圧器逃がしタンクの窒素圧力を低下させる作業を行い、  
2:54に警報は消灯(作業後の圧力は約25kPa)。

**加圧器逃がしタンクの機能**  
加圧器逃がし弁あるいは安全弁から放出された  
蒸気を加圧器逃がしタンクに導き、同タンク内の  
液相部にて凝縮させるもの。